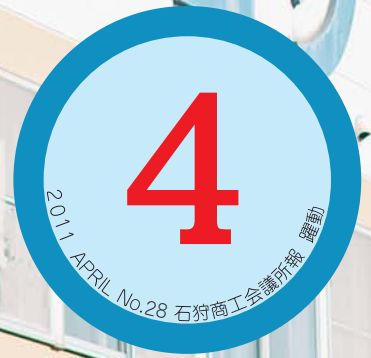




躍動



第28号

2011 APRIL No.28 石狩商工会議所報 躍動

編集・発行/石狩商工会議所



東北地方太平洋沖地震で亡くなられた方々のご冥福を心からお祈りするとともに、被災された方々に対しまして心からお見舞い申し上げます。(石狩商工会議所役員一同)

景気変動に左右されない、 企業の強固な経営基盤作りをサポートする

〜平成23年度事業計画〜

基本方針

平成二二年度の国内経済は、当初こそ回復基調にあったものの、海外経済の失速や円高傾向の長期化など、多くのマイナス要因がこれを打ち消し、経済成長を鈍化させることとなった。また、今年に入って中東情勢が不安定さを増しており、今後、原油価格の高騰が予想されることから、製造業を中心に不安感が広がっている。

こうした状況に鑑み、経済界からは、すでに政府に対し多くの政策要望が表出しているが、現政権においては、経済成長と財政の健全化という、両立の難しい二つの命題に取り組まざるをえず、効果的な経済対策を速やかに実行できるかは、不透明な状況にある。

長期にわたって景気低迷に耐えてきた地方の中小零細企業にとって、これ以上海外の景況や国の経済対策など、外的要因によって状況が好転するのを待つ余裕はすでに無く、景気変動の影響を受けにくい強固な経営基盤の確立が危急の課題となっている。しかしながら、物的・人的資源に限りのある中小零細企業にとってはハードルが高く、実現には相当な困難が予想される。当商工会議所では、そうした企業の努力について、できうる限りの支援を行うべく、経営改善普及事業を通じて

きめ細かい相談・指導を行うとともに、企業の販路拡大や技術革新等について配慮しつつ、事業を展開する。また、既に先進的な技術開発や規模の拡大を目指すなど、積極的な事業展開を行っている企業を支援し、ひいては地域経済の発展に繋げるため、必要な社会資本や法の整備について、関係機関と協力しながら政策提言・要望活動を活発に行う。

なお、去る三月一日に発生した東北地方太平洋沖地震について、会員企業への影響を最小限のものとするべく尽力する。

以上の基本方針に基づき、平成二三年度において、当商工会議所は次に掲げる事業を積極的に推進する。

I 産業基盤の整備促進へ向けた取り組み

一、提言・要望活動の強化

長引く景気の低迷により疲弊した地域経済を立て直すため、地域資源の活用や中小企業支援など、社会資本や法の整備を伴う様々な施策について、会員企業の意見を聴取しつつ、常設の政策検討委員会がその実効性や実現可能性について精査したうえで、国や自治体に対し政策提言及び要望活動を推進する。

- (1) 産業及び経済施策に関する意見の表明
- (2) 地域社会の問題に対する意見の表明



2011 APRIL No.28 石狩商工会議所報 躍動
編集・発行/石狩商工会議所

【表紙】道内初となる電気自動車(EV)タクシー2台を導入したダイコク交通株。3月16日から営業運転を始めており、燃料費削減と二酸化炭素排出量の抑制効果が期待されています。

CONTENTS

景気変動に左右されない、
企業の強固な経営基盤作りを
サポートする

〜平成23年度事業計画〜

今後更なる発展が期待されている
石狩湾新港地域

―石狩湾新港地域の開発現況―

TOPICS

- ① 石狩まるごとフェスタ2010
- ② いしかり元気づくり事業・議員会活動報告
- ③ 石狩商工会議所10周年記念事業
- ④ 優良従業員表彰式・会員交流会開催
- ⑤ 建設業と地域の元気回復助成金事業
- ⑥ 『海と川に育まれた新石狩協議会』報告
- ⑦ 業種別部会の活動報告
- ⑧ 産業活性化基盤整備懇話会
- ⑨ 青年部・女性会の活動報告
- ⑩ INFORMATION
- ⑪ 各種共済融資制度関連
- ⑫ 平成23年度実施
- ⑬ 石狩商工会議所検定試験施行日程一覧表
- ⑭ 道央興産有限会社がHESを認証取得!

- (3) 社会資本整備の推進
- (4) 公共投資拡大に関する要望

二、石狩新港地域の開発促進

石狩湾新港地域は近年、LNG基地やデータセンターの建設など、以前の製造・物流拠点とは異なる機能を新たに有することとなり、地域経済における重要性が増すと同時に、より一層の社会資本及び港湾施設整備が求められている。一方では、企業進出件数の鈍化・減少傾向が続いており、立地する企業にとって魅力的な環境づくりが課題となっている。更には、立地・操業から二〇年、三〇年と経過している企業も少なくなく、これら企業の設備投資に対する意欲を喚起する施策が必要と考えられる。当商工会議所では、新港地域の発展が地域経済回復の重要な要素ととらえ、関係機関と協力しつつ、以下に掲げる活動を行う。

- (1) 企業誘致促進及び既に立地している企業への操業支援活動の推進
- (2) 港湾施設、道路網等の整備促進活動
- (3) 札幌都市圏広域防災拠点整備構想実現への協力活動
- (4) 石狩LNG輸入基地建設による市内経済への波及効果促進
- (5) 新港地域内における地域交通活性化の促進
- (6) 新港の活用による貿易・経済の拡大
- (7) グリーンデータセンター建設による市内経済への波及効果促進

II 地域経済振興・活性化へ向けた取り組み

一、地域活力支援事業

商店街や企業が行う、集客や販促に繋がる

- (1) 商店街対策事業

石狩市内において活動する、商工業者により組織される団体が、地域経済の振興や、集客の向上等を目的として自主的に行う事業に対し、その費用の一部を助成する。

- (2) 「石狩ブランド」ブランディング事業

地域の特性を生かした付加価値の高い商品に対して、石狩ブランド応援ロゴマークを発行・貼付し、地元企業が生産する商品の市場での差別化を支援する。

二、活力ある地域産業の展開

会員企業をはじめとする、地場企業の市場・販路拡大を支援するため、企業や商品をPRするためのイベント事業を実施するとともに、消費者向けWEBサイト「WEBタウンいしかり」を通じて会員企業情報の発信に努める。

また、企業が市場での競争力強化のために行う、技術高度化・生産効率化に係る調査研究など、その自主的な取り組みを積極的に支援する。

- (1) いしかりPR事業

当会議所が運営する消費者向けWEBサイト「WEBタウンいしかり」を通じて、会員企業や、会員企業が製造・販売している商品をPRし、販売促進に寄与する。

また、会員企業の販路拡大を企図した、インターネットによる通信販売事業について、調査研究を行う。

- (2) 建設関連支援事業

地元建設関連事業者と消費者が接触する機会を作り、工事受注の増加、ひいては建設関連産業全体の振興を目論み、リフォーム

- (3) 産業まつり事業

△展示・相談会を開催する。
平成二〇年度以降、毎年開催されている産業まつり「石狩まるごとフェスタ」に運営主体の一員として参画し、食品を中心とした地場産品の認知を図るとともに、地域の賑わいづくりに貢献する。



- (4) 新商品・技術開発支援事業

企業が新商品・技術開発や新規市場の開拓のために自ら行う、先進事例の視察や調査研究などの取り組みに対し、経費の一部を助成し、経営基盤強化を支援する。

III 中小企業支援の強化と人材育成

一、小規模事業経営支援事業

地域経済を活性化するためには、地場企業が安定した経営を行い、更には、将来の成長へ向けた活力を有することが重要であるとの認識から、専門の経営指導員による経営指導や各種講習会・相談会の実施など、経営の改善発達につながる各種事業を実施し、企業の経営基盤強化をサポートする。

- (1) 巡回相談、指導の強化

企業経営者の悩みや経営上の問題点について、より詳細に分析し、適切な指導を行うため、専門の経営指導員による巡回相談・指導の強化を従前にも増して推進する。

- (2) 経営改善個別診断の実

希望する会員企業に対し、当会議所の委嘱する中小企業診断士が個別に企業診断を

行い、経営環境の改善を支援する。

(3) 各種融資制度の利用促進

各種の制度資金や当会議所と金融機関による提携ローンの利用推進を図り、中小企業の資金調達を支援する。

(4) 税務に関する相談会の実施

所得税の確定申告時期に合わせ、決算及び申告に係る相談・指導を一定期間実施する。

(5) 記帳機械化の推進

小規模事業者の事務負担軽減を図るため、記帳の電子化を推進するとともに、振替伝票の入力及び帳簿作成代行業務を実施する。

(6) 倒産の未然防止に関する相談、指導

取引先企業の倒産によって、中小企業が連鎖倒産や経営難に陥ることを防止するため、倒産防止共済の加入を推進する。

(7) ICT（情報通信技術）導入に関する相談、指導

中小零細企業が、今日の高度に情報化されたビジネス環境に対応できるよう、情報通信技術導入を積極的に支援する。

(8) 講習会・講演会の開催

経営者や従業員の資質向上、ひいては経営の改善につながる各種講習会・講演会を開催する。また、同様の趣旨で開催される他の講習会等の参加費用の一部を助成する。

(9) 環境問題対策事業

企業が取り組む環境問題対策を支援するため、環境マネジメントシステム導入に係る経費の一部を助成する。

(10) 商業活性化調査研究事業

中小小売業者及び料理飲食店をはじめとするサービス業者の経営環境が悪化する

中、一年を通じて利用可能な販売促進策が求められていることから、他地域で実績のある「商品券」事業について、その有効性を検証するため、調査・研究を行う。

二、人材育成及び労務対策事業の推進

後継者の育成や、従業員の資質向上に関する諸事業を通じ、企業の安定的かつ持続的な発展に寄与する。

(1) 青年部・女性会の活動支援

青年部・女性会が、それぞれ実施する自主的な活動を通じ、人格形成や経営者として必要な知識や経験を得るよう支援する。

(2) 労働保険事務組合の運営強化

労働保険に係る煩雑な事務を代行し、中小零細事業所の負担を軽減するとともに、労働保険の適用推進により、中小零細企業における労働福祉向上を図る。

(3) 人材能力開発育成支援事業

経営者及び従業員の資質向上を図るため、公的機関等で開催される研修会への参加費用を一部助成する。

(4) 福利厚生推進事業

会員企業が実施する、従業員の健康診断に係る費用を一部助成するとともに、いしかり共済の加入を推進し、中小企業における福利環境の充実を図る。

(5) 優良従業員表彰の実施

会員企業に勤務する、永年勤続の従業員を表彰し、その功労を称えらるとともに、勤労意欲の向上を図る。

(6) 各種検定試験の実施

経営者や従業員の資質向上、及び現在就学中の者が次世代の企業人としての知識・機能を習得することを目的として、各種検定試験を実施する。

(7) 緊急雇用創出推進事業

新卒未就職者を臨時職員として雇用したうえ、OJT及び一定のカリキュラムによる教育訓練を施し、企業の即戦力となるような人材を育成する。

IV 会員サービスの充実と財政基盤の強化

一、各種共済制度の加入促進

中小企業の経営基盤安定化に資する各種共済制度について、制度内容・効果等を積極的にPRし加入を推進するとともに、手数料による安定的な収入を確保する。

二、会報・WEBサイトによる情報提供の強化

当会議所が運営する各種の媒体を利用し、会員企業に対する情報提供を迅速かつ積極的に行うとともに、会員企業や商品のPRに努める。特に平成二三年度については、会員向けホームページを大幅に改善するなどして、会員に対する情報発信機能を強化する。

(1) 会報「躍動」冊子版（毎年四月発行）

(2) 会報「躍動」FAX版（原則毎月一日発行）

(3) WEBサイトによる情報提供

(4) 市広報誌の活用（年五〜六回）
また、上記媒体の一部を広告スペースとして提供する。

三、会員交流事業の実施

会員企業同士が交流・親睦を図るとともに、異業種間での情報交換により、新たなビジネスチャンスが生ま



れるよう、会員交流事業を実施する。

四、会館利用の促進

当会議所が管理・運営する石狩商工会館について、研修・会議での利用等、貸室及び備品貸出業務をPRし、会館利用の促進を図る。

V 組織体制と活動基盤の強化

一、部会・委員会活動の活性化

業種別部会により、各業種における問題点を抽出・改善するための様々な事業を展開し、部会員の経営安定化に寄与する。また、商工会議所が抱える諸問題、重要事項に関し、委員会による調査研究活動を積極的に推進する。

- (1) 部会の研修、部会員交流事業の実施
- (2) 部会員の意見、要望等のとりまとめ
- (3) 委員会における地域商工業や商工会議所運営に係る重要事項の調査研究や諮問事項に対する具申
- (4) 役員・議員研修の実施

二、地区別協議会の開催

各地区毎における会員相互の交流を促進するとともに、会員から直接意見を聴取し、役員との意見交換をする場として、地区別協議会を開催する。

三、会員増強運動の推進

商工会議所の組織力増強を図るため、先に新設された組織強化特別委員会を中心に、会員及び役員が一丸となって、新会員獲得運動を展開する。

平成23年度 一般会計・特別会計（合算）収支予算

収入の部

石狩商工会議所 (単位：千円)

科目	一般会計	相談所計	会館運営計	共済事業計	労働保険計	合計	H22予算額	対比増減
1 会費	29,601	0	0	0	0	29,601	29,487	114
2 特定商工業者負担金	1,866	0	0	0	0	1,866	1,866	0
3 加入金	450	0	0	0	0	450	450	0
4 交付金	18,795	48,046	0	0	950	67,791	82,386	△14,595
5 事業賦課金	3,164	100	0	0	0	3,264	8,288	△5,024
6 手数料	2,440	0	0	190	0	2,630	2,634	△4
7 運営収入	0	0	3,300	5,640	0	8,940	7,310	1,630
8 指導収入	0	0	0	0	1,800	1,800	1,700	100
9 検定料	530	0	0	0	0	530	580	△50
10 受託料	1,760	0	0	0	0	1,760	1,760	0
11 貸室収入	0	0	4,280	0	0	4,280	4,185	95
12 雑収入	1,309	1	79	3	1	1,393	960	433
13 前期繰越金	1,713	0	0	0	0	1,713	2,154	△441
14 繰入金 ※	0	8,620	255	60	0	8,935	7,849	1,086
15 財政運営引当金戻入収入	0	0	0	0	0	0	1,000	△1,000
16 建物修繕引当金戻入収入	3,000	0	0	0	0	3,000	0	3,000
合計	64,628	56,767	7,914	5,893	2,751	129,018	144,760	△15,742

支出の部

科目	一般会計	相談所計	会館運営計	共済事業計	労働保険計	合計	H22予算額	対比増減
1 会員振興事業費	1,600	0	0	0	0	1,600	1,838	△238
2 地域活力支援事業費	950	0	0	0	0	950	800	150
3 活力ある地域産業の展開事業費	4,250	0	0	0	0	4,250	6,900	△2,650
4 総合振興事業費	14,547	0	0	0	0	14,547	18,753	△4,206
5 建設業と地域の元気回復助成事業費	0	0	0	0	0	0	15,000	△15,000
6 その他事業費	0	0	0	770	0	770	900	△130
7 いしかり元気づくり事業費	0	0	0	0	0	0	0	0
8 職員設置費	24,822	40,833	0	4,772	2,586	73,013	71,744	1,269
9 旅費交通費	193	0	0	28	29	250	250	0
10 事務費	1,582	0	160	323	96	2,161	2,200	△39
11 会議費	670	0	0	0	9	679	900	△221
12 渉外費	475	0	0	0	0	475	650	△175
13 公課分担金	2,894	0	1,564	0	31	4,489	4,346	143
14 雑費	10	0	10	0	0	20	70	△50
15 指導事業費	0	15,934	0	0	0	15,934	15,109	825
16 会館維持費	0	0	3,180	0	0	3,180	3,300	△120
17 切手等購入費	0	0	3,000	0	0	3,000	2,000	1,000
18 繰出金 ※	8,935	0	0	0	0	8,935	7,849	1,086
19 会館修繕工事費	3,000	0	0	0	0	3,000	0	3,000
20 予備費	700	0	0	0	0	700	0	700
合計	64,628	56,767	7,914	5,893	2,751	129,018	144,760	△15,742

(但し、退職給与資金特別会計を除く)

※繰入金、繰出金の8,935千円においては、6会計間の内部処理のため合計額に含まれておりません。

今後更なる発展が期待されている石狩湾新港地域！

— 石狩湾新港地域の開発現況 —

■国内最大級の低環境負荷型データセンター

平成22年6月、データセンター事業を展開する国内大手のIT関連会社「さくらインターネット株式会社」(本社・大阪)は、石狩湾新港地域に大規模郊外型の「石狩データセンター」の建設を発表しました。平成23年3月に第1期工事着工、10月に完成する予定です。

石狩データセンターは、安価で広大な土地を生かした拡張性と柔軟性を持ち、最終的には8棟、約4,000ラック収容の国内最大級のデータセンターとなる見込みです。

また、北海道の冷涼な外気を空調に導入することで、消費電力量とCO2排出量を約4割も削減可能とする、環境に配慮した最先端の施設となります。

さらに、電力費、土地・建物費などのコストは、東京23区内のデータセンターと比べて、半分以下になると想定され、日本のITコストを世界標準に引き下げることが可能となります。

今後は、風力・雪氷などの自然エネルギー導入や、サーバからの排熱を事務室の暖房に活用するなど、一層環境に配慮した取り組みが検討されて

います。

石狩データセンターの進出を機に、新たなデータセンター事業者や情報関連産業の集積が図られるなど、さらなる地域経済の活性化が期待されています。



▲全体図 (最終8棟：合計4,000ラック)



▲1期棟外観図

■北海道の総合エネルギー拠点として

～着実に進む北海道ガス(株)LNG基地の建設

石狩湾新港中央地区は、エネルギー関連企業により、LPGや石油製品を取扱う施設が集積しており、札幌圏、ひいては道央圏の経済活動や市民生活を支えるエネルギー供給拠点が形成されています。

このような中、平成20年春に北海道ガス(株)は、今後一層の拡大が見込まれる北海道内の天然ガス需要に対応し、将来にわたり安定的に供給できる体制を整えるため、本港中央地区に石狩LNG基地

を建設することを決定しました。

同社の石狩LNG基地は、総事業費として約400億円が投じられ、約10万平方メートルの敷地に、地上式では国内最大級となるLNG貯蔵用タンク(容量18万キロリットル、直径約80メートル、高さ約54メートル)、LNG船接岸施設や内航LNG船、ローリー出荷施設などの建設が予定されています。

建設工事は平成21年5月にスタートし、平成22年12月にはLNG貯蔵タンクの屋根部も姿を現すなど、平成24年中に運転開始が予定されている中、順調に進められています。

この基地は道内で初となる輸入LNG基地のため、天然ガスというクリーンなエネルギーの供給拠点としての役割に留まりません。「北海道全体におけるエネルギーインフラとしての社会的意義を担う基地」として、多様な地域からエネルギーの受け入れを可能とする石狩LNG基地は、北海道を支えるエネルギー供給拠点として、貢献することが期待されているところです。



石狩まるごとフェスタ2010

平成22年8月21・22日(土・日)の両日、3回目となる「石狩まるごとフェスタ2010」を石狩市役所前特設会場等で開催しました。

会期1日目の日中は晴天、夜間の花火大会後半には激しい雨があったものの、来場者も間近で打ち上がる花火に大いに盛り上がりました。また、2日目日中も天候に恵まれ、2日間合わせて約5万8,000人内外の来場者で賑わいました。

この事業は「石狩ブランドまるかじり！」をテーマに、石狩市をはじめ当商工会議所やJAいしかり、石狩観光協会、石狩北商工会など、市内多くの団体・企業・市民が協働して企画運営を行った全市的なイベントです。

特に、「農・商・工連携」による石狩の強さをアピー

ルする事業となり、市内産業力の再認識・PRにとっても良い機会となりました。

なお、平成21年12月7日に特許庁へ団体商標登録出願を行った「石狩ブランド応援ロゴマーク」については、平成22年9月17日に国の認可を受け、今後は、石狩産原材料を使用した飲食料品の商品・製品に活用することを目的として商品価値をさらに高め、話題性による差別化を図っていくことが期待されております。



いしかり元気づくり事業 ～年末大売出し～

本年度、石狩商工会議所・石狩北商工会の事業連携により、全市統一「スクラッチくじ」を使用した年末大売出し事業を行いました。108事業所120店舗(会員114店舗・非会員6店舗)の参加をいただき、目標売上高2億円(スクラッチくじ20万枚)に対し、最終販売額では185,890千円(同185,890枚)を売り上げ、当初の売上目標に対し



て92.95%の達成率となりました。

年末大売出し期間中の業種別売上高「トップ3」については、小売業113,461千円、飲食業44,546千円、理美容業8,600千円の順で、業種別参加構成も同3業種の参加事業所が「トップ3」となっており、年末年始の準備やお買いもの、忘年会などへの消費需要がうかがえ、市内購買率の向上に寄与しました。

なお、期間中に利用された当たりくじ商品券は、1万円券が39本、1,000円券が284本、200円券が2,147本、合計2,470本で、1,103,400円を消費者の皆様により市内参加店においてご利用いただきました。

議員会活動報告

◆事業報告

当議員会では、議員相互の発展・親睦を図るため、さまざまな事業を行っています。

平成22年度事業はつぎのとおりです。

- ・6月19日 親睦ゴルフ・パークゴルフ大会
- ・7月30日 ビアパーティー
- ・10月7日～10日(3泊4日)台湾視察研修旅行

◆役員改選

12月3日(金)石狩商工会館3階大ホールで総会を開催し、第5期新役員が選出されました。

新役員はつぎのとおりです。(敬称略)

〈会長〉米澤 哲

〈副会長〉小林 伸一、栗谷 茂喜、竹内 義和

〈幹事長〉真嶋 明

〈幹事〉相田 芳男、酒井志津子、富木 幹雄、横田 優子、半澤 孝幸、松永 昭司

〈監事〉渋谷 敬吉、金子 康幸



石狩商工会議所10周年記念事業

5月20日(木)、石狩商工会議所の創立10周年記念事業を石狩市花川北コミュニティセンターにおいて開催しました。会員をはじめとして、(社)北海道商工会連合会の高向巖会頭、北海道経済産業局の柚原一夫局長ほか約280名が出席。

式辞で三津橋会頭は、「道内42番目の会議所として設立されたが、前身の商工会を含めると50年の歴史を数える。これもひとえに関係機関のご支援のためもの。今後は石狩製品の売り込みに全力を挙げたい」と述べました。

続いて記念講演では、北海道ガス株式会社 取締役会長の草野成郎氏から「道央圏における石狩市の環境・エネルギー戦略について」と題した講演をいただきました。祝賀会では、会員ほか出席者相互の

交流を深め、最後に出倉実行委員長のお礼のことばにて終了しました。



会員交流会開催

1月27日(木)、石狩商工会議所組織強化特別委員会(香川義則委員長)は、2011年会員交流会を石狩市民プール2F多目的ホールにおいて開催し、133名の会員が参加しました。

交流会では、竹内義和副委員長の総合司会により進行し、新会員39事業所の紹介を行い、会員相互の理解をより一層深めました。

また、余興の部では石黒嗣康委員の司会により、豪華景品が当たる大抽選会、液晶テレビ(32型デジタルテレビ)等が当たるジャンケン大会を実施し、会場内も大いに盛り上がり、大盛況のうちに終了いたしました。

ご参加いただきました会員・新会員の皆様、景品提供・協賛金提供いただきました皆様には、心からお礼申し上げます。



優良従業員表彰式

3月25日(金)、商工会館において優良従業員表彰式が行われ、会員企業に永きにわたり貢献されている従業員の皆さんを表彰いたしました。

《5年表彰》(有)アルファ・ヘルプ・サービス

岩瀬友美枝、大西 好江、岡本 郁子
熊倉 紀子、斉藤真由美
(株)エイト自動車販売 野呂 孝之
ホクト畜産(株) 今井 勝宏
(株)レパレ 佐々木博昭

《10年表彰》(有)アルファ・ヘルプ・サービス

安藤 奈美、葛西 典子
(有)ササキ通信 三橋 正和

《15年表彰》(株)緑地建工 加藤 昭紀

(株)リプロワーク 笠嶋 茂雄

《20年表彰》(株)緑地建工 佐藤 正彦、佐藤光智明

《25年表彰》(協)石狩新港卸センター 細部久美子



建設業と地域の元気回復助成事業『海と川に育まれた新石狩協議会』報告

当商工会議所では、建設業界の経営環境の改善と地域の元気回復を目指し、国土交通省所管で(財)建設業振興基金の「建設業と地域の元気回復助成事業」の補助金を活用して平成21年7月から今年の2月まで約1年半に亘って、リサイクル・ものづくり・人材育成などの各課題について各種事業を実施しました。

事業実施に当たっては、商工会議所が中心となり、北海道開発局をはじめ、石狩市、(独)雇用・能力開発機構北海道センター、北海道職業能力開発大学校、建設業者で構成する協議会を設立し、建設業部会員を加えた幹事会と検討会を構成して、それぞれのテーマに沿って取り組みましたので、事業の概要について次のとおり報告いたします。

【事業概要】

- リサイクル需要開拓計画の策定
- 新たなリサイクル事業の展開
 - ①試作品づくりの実施
 - A. 再生ベニア板製造装置(ケレン機)
 - B. 剪定枝葉等の防音装置付破碎装置
 - ②展示会への出展
 - ・建設産業展2011近畿(マイドームおおさか)
 - ・エコプロダクツ2010(東京ビックサイト)
 - ③ものづくり人材育成のための研修会等開催
 - ・人材育成研修 4コース/23課程開催
…延べ180事業所・264名参加
 - ・セミナー 2回…延べ65社・85名参加
 - ④アンケート 4回…延べ210社より回答

【事業の効果】

建設業をはじめものづくり人材の育成促進が図られたこと。事業を通じ各種団体の人的ネットワーク構築と新技術開発や異業種参入への推進強化が図られ、新技術の開発や異業種参入への推進が強化されること。[雇用能力開発機構北海道センター・北海道職業能力開発大学校等]

また、コミュニティテレビ等の利用による普及啓発を通じ、地域住民や企業へのリサイクル意識の醸成が図られたこと。



試作品A (ケレン機)



試作品B (破碎機)

【課題】

試作品づくりでは、ケレン機については、今後も性能の高度化・効率化・コストダウン等の検証を行い、道内外の市場開拓が必要である。また、破碎機については、公園等の枝葉のリサイクル化について行政の理解を得て、環境分野の循環システムの構築による事業開拓を推進する必要性があります。

人材育成については、建設業部会等が各関係機関と連携し、人材育成メニューづくりを検討し実施することが望まれます。

○事業の様子をホームページで紹介中!

- ・商工会議所 <http://www.ishikari-cci.or.jp/>
- ・えりすいしかりネットテレビ

<http://www.i-eris.tv/usFirst.do>

業種別部会の活動報告

■工業部会■

◆工業部会・道外先進地域視察研修

2月3日(木)・4日(金)の2日間、道外先進地域視察研修を実施し、会員企業9社11名が参加しました。

へら絞りという技術で金属加工を行っている、『株式会社北嶋絞製作所』を視察しました。匠の技術と最先端の設備とノウハウを活かし、大きさ種類も他種多様なものに対応し、顧客のニーズに応じているとのことでした。また、へら絞りの体験をさせていただくことができ、加工の難しさを実感し、熟練された技術を感じることができました。

次に当会議所工業部会員3社が出展している『おおた工業フェア』の視察をしました。大田区立地工場と全国からの出展企業や団体などとの広域連携を図る場として、103の企業や団体が出展しているほか、出展企業とのビジネスマッチングが実施されており、大変にぎわっていました。

翌日は、横浜で開催された工業技術見本市「テク



ニカルショウ ヨコハマ2011」を視察しました。横浜市内の企業と全国からの383の企業や団体の出展があり、新技術・新製品の発見の場となりました。

工場視察やフェアなど参考になる点も多いとの感想もあり、効果のある事業となりました。

■商業・サービス業部会■

◆視察研修事業

2月17日(木)・18日(金)の2日間、商業・サービス業部会合同の視察研修を実施しました。

研修では、いつてみたい商店街大賞を受賞された札幌市西区の発寒北商店街振興組合を訪問し、土屋日出男理事長より同振興組合の事業について説明を受けました。

同振興組合は、平成21年に高田馬場発祥の地域通貨「アトム通貨」を道内で初めて導入し、商店街の活性化に意欲的に取り組んでいます。

アトム通貨は各イベントや廃食油・ボトルキャップの回収時などで配布しており、地域住民との連携をより深めたものとなったとの説明に、参加した部会員は熱心に耳を傾け、また活発な意見交換が行われました。

その後、定山溪のホテルにて懇親会を開催し、参加者ひとりひとりが自己紹介や事業紹介を行い、会員相互の理解を深めました。

◆インターネット通販セミナー

2月25日(金)には、商業・サービス業部会合同のインターネット通販セミナーを開催しました。

札幌商工会議所中小企業応援センターの登録講師である中小企業診断士 春日 一秀氏を講師に迎え、インターネット通販で成功するためのノウハウを入門編として実施しました。



業種別部会の活動報告

■建設業部会■

◆視察研修

3月3日(木)・4日(金)の2日間、視察研修事業を実施し、部会員13名が参加しました。

帯広市では、ばんえい競馬が行われる帯広競馬場に併設されている「とかちむら」を見学しました。とかちむらは、管理運営会社が概算事業費2億2,000万円をかけて整備し、このうち帯広市が建設費など約1億8,000万円を補助しているとのことでした。帯広市では、道東道全線開通と合わせて、道内外からの観光客増加による経済効果を期待されているとのこと。このほか、芽室町の明治乳業十勝チーズ館を見学するなどし、大変有意義な視察研修となりました。

◆石狩市住宅改修費等補助制度説明会

3月16日(水)、このたび見直しされる「石狩市住宅改修費等補助制度」の説明会を実施し、石狩市建設水道部建築課の担当者から補助対象者の拡大等についての説明を受けました。



この制度は、市内住宅の耐震補強・省エネ・バリアフリー化・太陽光発電設置等の工事費用の一部を補助する制度で、この制度を活用し、さらなる顧客獲得をめざす参加者は熱心に耳を傾けていました。

◆リフォームフェスタ

3月19日(土)・20日(日)の2日間、花川北コミュニティセンターにて「いしかりリフォームフェスタ2011・春」を開催する予定でしたが、3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震や津波などの被災地の実情を鑑み、中止といたしました。

第5期 新部会長の皆様をご紹介！

工業部会
部会長 真嶋 明
石狩市の工業発展の為、会員相互の親睦を図り、また、視察会、講習会、安全衛生パトロール等の事業を通じ、お互い切磋琢磨し、共存共栄を図る工業部会を目指します。



株式会社酒井機材製作所

建設業部会
部会長 半澤 孝幸
第五期建設業部会部会長をさせていただきます半澤です。これまでの部会活動を継続した上で、さらに新たな活動に取り組みたいと考えております。任期三年間よろしくご願ひ致します。



半澤建設株式会社

サービス部会
部会長 中田 雅民
石狩市のサービス業発展の為、様々な情報を活用して部会事業を活発化し、地域の情報を広く発信していきたいと存じますので、よろしくご願ひ致します。



有限会社宝寿し

商業部会
部会長 富木 幹雄
この度、商業部会長を務めさせていただきます富木です。部会活動を積極的に展開し商業部会の活性化を図っていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくご願ひ致します！



有限会社とみき

平成22年度 各部会実施事業一覧

平成22年

- 6月11日 安全衛生相互パトロール
(工業部会) パトロール会場：(有)村田金属塗装工業
講師：中央労働災害防止協会北海道安全衛生サービスセンター
技術専門役 澤田厚史 氏
講習会会場：石狩商工会館
参加者：10企業19名
- 10月14日 工業部会・建設業部会合同北ガス石狩LNG基地施設見学
(工業部会) 参加者：26名
- 11月29日 工業部会員名刺交換会（企業PR）および交流会
(工業部会) 場所：つば八藤女子大前花川店
参加者：18社21名

平成23年

- 2月3・4日 工業部会道外先進地域視察研修
(工業部会) 視察先：大田区内立地工場視察
①(株)北嶋絞製作所
②おおた工業フェア会場
③テクニカルショウ
ヨコハマ
参加者：9社11名
- 2月17・18日 商業・サービス業部会合同視察研修
(商業・サービス業部会)

- 視察先：①発寒北商店街振興組合
②JRタワー展望室
- 参加者：23名（商業7名・サービス業15名・会頭）
- 2月25日 商業・サービス業部会合同IT経営セミナー
(商業・サービス業部会)
インターネット通販セミナー入門編
講師：(有)ユー・サポート
代表取締役 春日一秀 氏
講習会会場：石狩商工会館3F大ホール
参加者：23名
- 2月25・26日 建設・工業部会合同 職長・安全衛生責任者講習
(建設・工業部会)
場所：(株)日立建機教習センター
参加者：3名
- 3月3・4日 建設業部会視察研修
(建設業部会) 視察先：①十勝チーズ館
②とちらむら
参加者：13名
- 3月16日 石狩市住宅改修費等補助制度説明会
会場：石狩商工会館
参加者：17名

■建設業部会通年事業
労務安全衛生ビデオ 無料貸出

産業活性化基盤整備懇話会

去る1月25日(火)、石狩市民プール2階多目的ホールにおいて、平成22年度の「産業活性化基盤整備懇話会」が開催されました。

この懇話会は、当市のさらなる地域経済の活性化に向けて、北海道庁と石狩市、商工会議所などの幹部等が意見交換を行うことを目的として開催されるもので、今年で4回目。

懇話会には、内海英徳北海道議会議員、田岡克介石狩市長、田中実北海道建設部土木局長はじめ建設土木に関わる北海道や石狩市など関係する機関の幹部、また、当会議所からは三津橋会頭、神田・氏家両副会頭、さらには、洪屋敬吉石狩市建設事業協会長など地元経済界を代表するメンバーが出席しました。

懇話会においては、当市の交通ネットワークの確

立、港湾整備や河川改修等の産業基盤の整備について意見交換が行われ、道庁側から、今回要望された項目については、積極的な事業の展開を検討したい旨の回答がなされて閉会しました。

要望された項目は、次の12項目。

①石狩湾新港の整備促進、②石狩湾新港背後地域基盤整備の促進、③上水道事業に係る水源開発、広域化事業の推進、④道道月形厚田線の線形及び勾配の改修、⑤道道矢白場札幌線の整備推進、⑥望来川河川改修の推進、⑦浜益川広域河川改修事業の促進、⑧厚田川の改修、⑨直轄河川環境整備事業の促進（茨戸川）、⑩公共下水道事業の整備促進、⑪浜益区川下地区の飛砂対策、⑫厚田漁港の西防波堤の整備促進

青年部・女性会の活動報告

■青年部■

◆YEGまつり2010

いしかりふれあいフェスタの開催

11月14日(日)、地場企業の育成並びに地域の活性化に寄与することを目的とした「いしかりふれあいフェスタ」を花川北コミュニティセンターで開催しました。

会場では、石狩の将来について考えるまちづくりシンポジウム、プロの技術を伝えるセミナー、地場産品・飲食・PRなどの出店や様々なイベントを行いました。



■女性会■

◆石狩まるごとフェスタに出店

8月21日(土)・22日(日)に行われた石狩まるごとフェスタに売店を出店、20名の会員が参加しました。

参加した会員は、前日は夜遅くまで事前準備を行い、当日は天候にも恵まれ、焼きそばやカレーライス、ゆでとうきびなどの調理・販売等を行い、忙しいながらも充実した時間を過ごしました。



当日は、1,500人が来場し大盛況のうちに無事終了することができました。

◆石狩市内各種青年団体交流会

『わかもんの会』の実施

12月17日(金)、田岡克介石狩市長をお招きし、「石狩新港地域とこれからのまちづくりについて」ご講演をいただき、



市内各種青年団体47名が参加しました。

講演では、石狩湾新港地域の動向について、貴重なお話を伺うことができ、また、活発な意見交換会も行うことができました。

◆市内視察経済研修の実施

2月19日(土)、「もっと知ろう！ 石狩のまち」をテーマとし、大人の社会見学バスツアーを実施し、9名が参加しました。

石狩東洋(株)・(株)ワタキュークリーン・(株)マテック・(株)北栄ステンレス工業を視察し、有意義な研修となりました。

◆新年会実施

1月19日(水)、美食工房 花において、毎年恒例となっている新年会を開催し、会員19名が参加しました。

今年は、田岡克介石狩市長・三津橋昌博会頭・松尾拓也青年部会長・秋枝征典青年部理事・若生剛毅青年部理事を来賓にお迎えし、田岡市長のご挨拶の後、三津橋会頭のご発声により開宴しました。

途中、早飲みや漢字書き取りゲームなどを交え、参加者にはもれなく景品があたり、会場はより一層賑やかになりました。

最後に松尾青年部会長のご挨拶をいただき、和やかなうちにおひらきとなりました。



小規模企業共済制度が充実しました！

■経営者の退職金

小規模企業共済制度は、退職後のゆとりある生活を応援する安心の共済制度です。

■制度改正で、さらに魅力アップ

平成23年1月からは、個人事業主の「共同経営者」も加入することが出来るようになりました。(個人事業主1人につき2人まで)

■掛金は、全額所得控除

掛金は、全額が「小規模企業共済等掛金控除」として、課税対象所得から控除できます。

■無理のない掛金

掛金は、月額 1,000円～70,000円の範囲以内 (500

円単位) で自由に選べます。(加入後も、掛金月額の増額・減額ができます)

■契約者貸付けの利用が可能

契約者(一定の資格者)の方は、納付した掛金合計額の範囲以内で、事業資金等の貸付けが受けられます。(担保・保証人は不要)

「貸付の種類」 一般貸付け、傷病災害時貸付け、創業転業貸付け、新規事業展開等貸付け、福祉対応貸付け、緊急経営安定貸付け

※その他、制度の詳しい内容につきましては、石狩商工会議所へお問い合わせください。

小規模事業者経営改善資金融資 (マル経資金)

中小企業者を対象に、経営改善のために必要な資金を商工会議所の経営指導に基づき審査会の審査を得て商工会議所が推薦する融資制度です。

■貸付対象

- ①常時使用する従業員数が20人以下(商業・サービス業は5人以下)であること。
- ②原則として6ヶ月以上、商工会議所等の経営指導を受けていること。
- ③最近1年以上、同一商工会議所地区内で事業を営んでいること。
- ④所得税、法人税、事業税、都道府県民税、市町村民税をすべて完納していること。

⑤商工業者であり、かつ日本政策金融公庫 国民生活事業の非対象業種等でないこと。

※非対象業種等：金融・保険業、風俗営業、福祉事業、政治・経済・文化団体、その他公序良俗に反するものなど

■資金用途 経営改善に必要な事業資金(運転資金又は設備資金)

■融資限度額 15,000千円以内

■融資期間 運転資金 7年以内 設備資金 10年以内

■融資利率 1.95% (平成23年2月9日現在)

※その他詳しくは、石狩商工会議所(中小企業相談所)へお問い合わせください。

中小企業倒産防止共済制度 (愛称：経営セーフティ共済)

中小企業倒産防止共済制度は、取引先企業の倒産によって連鎖倒産したり著しい経営困難に陥るなどの事態を防止するための共済制度で中小企業者の方々の経営の安定を図ることを目的としています。いわば『取引先に不測の事態が生じたときの資金手当て』をする制度です。

■共済金貸付

制度に加入後6ヶ月以上経過して、万一取引先企業が倒産し、売掛金や受取手形などの回収が困難となった場合に、掛金総額の10倍の範囲内で最高3,200万円の共済金の貸付けが受けられます。

共済金は、無担保、無保証人、無利息で受けられます。ただし、貸付けを受けると貸付けを受けた共済金の10分の1に相当する額が納付した掛金から控除されます。

■一時貸付け

取引先の倒産が生じていない場合でも、臨時に事業

資金が必要なときは、掛金総額の範囲内で、一時貸付金の貸付けが受けられます。

■加入資格

加入できる方は、引き続き1年以上事業を行っている中小企業者の方々です。

■掛金

毎月の掛金は、5,000円から8万円までとなっており、5,000円単位で選択出来ます。掛金の積立最高限度額は320万円です。

■税法上の取扱い

法人の場合は損金に、個人の場合は必要経費に算入することができます。

※その他詳しくは、石狩商工会議所(中小企業相談所)へお問い合わせください。

平成23年度実施

石狩商工会議所検定試験 施行期日等一覧表

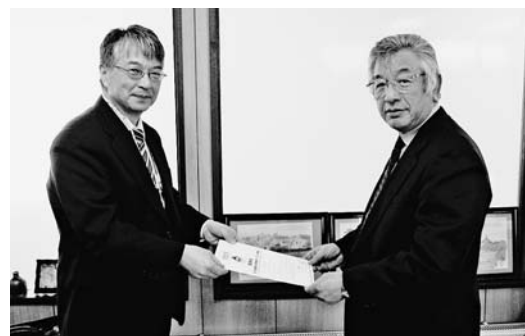
検定種別	回数	検定級	施行日	募集期間
簿記	128	1～3級	H23. 6.12 (日)	4/20～5/13
	129	1～3級	H23.11.20 (日)	9/30～10/21
	130	2～3級	H24. 2.26 (日)	1/10～1/27
	受験料 1級：7,500円 2級4,500円 3級2,500円			
珠算	192	1～10級	H23. 6.26 (日)	4/18～5/13
	193	1～10級	H23.10.23 (日)	8/22～9/16
	194	1～10級	H24. 2.12 (日)	12/5～1/12
	受験料 1級：2,040円 2級：1,530円 3級：1,330円 4～6級：920円 7～10級：820円			
販売士	68	3級	H23. 7. 9 (土)	5/23～6/16
	39	2級	H23.10. 5 (水)	8/19～9/12
	69	3級	H24. 2.15 (水)	12/15～1/23
	受験料 2級：5,500円 3級：4,000円			
■お申込み・お問合せ 総務課 (担当：菊池 TEL 72-2111)				
福祉 環境 コー ディ ネー ター	26	2・3級	H23. 7.10 (日)	4/26～5/27
	27	2・3級	H23.11.27 (日)	9/13～10/14
	受験料 2級：6,300円 3級：4,200円 試験会場 石狩商工会館 ◆申込・問合せ 東京商工会議所検定センター ☆電話登録・問合せ 03-3989-0777 (受付時間 平日10:00～18:00) ☆インターネット登録 http://www.kentei.org/ (初日10:00～最終日18:00迄) (AM2:00～AM6:00はシステムメンテナンスのため休止) ※福祉住環境コーディネーター検定のみ、問合せ先が異なりますので、ご注意ください。			

道央興産有限会社がHESを認証取得！

道央興産有限会社（代表取締役 香川義則）は、1月20日付にて、北海道環境マネジメントシステムスタンダード（HES）の産業廃棄物処理業者用システム規格を認証登録されました。一誠におめでとうございます！

HESは、国際規格であるISO14001を基本とし、多くの中小企業等が容易に取り組める環境マネジメントシステムとして経済団体、環境関係団体、行政機関の協力を得て構築し、より分かり易く、より安価で、より取り組みやすくした環境規格です。

環境マネジメントシステムは、環境問題への取り組み、従業員の意識改革、取引先からの要求など様々な目的で導入されております。必ず誰もが「良かった」と実感できるものがありますので、この機会にHESの認証取得について考えてみませんか！



※認証登録証を受け取る香川義則社長（写真右）

平成23年 会員・特定商工業者名簿について

正確を期すべく最善をつくしましたが、一部誤りがございました。42ページ 上から三行目（Ⅷ サービス業 2 理容・美容業）事業所名 Hair Space NODA様の電話・FAX番号に誤りがありました。記載は73-2766となっておりますが、正しくは73-0545となります。深くお詫び申し上げます、訂正させていただきます。

石狩 鮭醤油らーめん

店舗一覧

石狩発信ラーメン開発プロジェクト 「石狩麺恋会」



スープのこだわり

北海道産天然鮭使用「天然発酵鮭醤油」
佐藤水産の鮭醤油



東京農大名誉教授・農学博士
小泉武夫先生総合プロデュース

発酵学の第一人者である東京農業大学名誉教授小泉武夫先生のご指導のもと、新鮮な北海道天然鮭を原料に、鮭のまち石狩の佐藤水産魚屋製でじっくり作られた鮭醤油です。新鮮な天然鮭の内臓などを名原料とし、化学調味料は一切使用せず天然発酵のみで醸造した安心・安全の調味料です。今では貴重な昔ながらの杉桶仕込みで、発酵熟成物をせりしめ発酵と熟成を仕込みながら約4カ月間かけてコクと香り、そして深みのあるまろやかな醤油に仕上げます。魚屋製精の生臭みはほとんどなく、鮭醤油ならではのコクがあるてまろやかな旨みと香りが、「石狩鮭醤油らーめん」をおいしく引き立てます。他の魚醤と比べ、うま味成分のグルタミン酸を豊富に含み、カルシウムを体に取り入れやすいため、多く含まれた鮭醤油で作られる「石狩鮭醤油らーめん」を是非ご賞味ください。

茨戸ガーデン
 石狩市生振39-2
 0133-64-1955
 11:00~22:00
 休なし

炭焼やきとり 石鉄田むら
 石狩市花川南1条3丁目213
 0133-72-5929
 17:00~23:30 (LO)
 休日曜日・不定休

ラーメン 味の五六八
 石狩市花川南8条4丁目465
 0133-73-8880
 11:30~19:00
 休火曜日

アウトドアカフェ 野菜香房
 石狩市緑苑台東1条2丁目79
 0133-77-8811
 11:00~16:00/18:00~22:00
 休水曜日

麺や 雅
 石狩市花野2条1丁目67
 0133-64-0224
 11:00~21:00
 休なし

美食工房 花
 石狩市花川南3条1丁目12-1
 0133-64-8606
 11:30~23:30
 休火曜日

くいどころ てつぞう
 石狩市花川南3条3丁目8 静香ビル
 0133-73-7616
 17:00~23:00
 休月曜日

カドラーメン
 石狩市横町30-2
 0133-62-4671
 11:00~21:00
 休不定休

鮭爽醇鳥 ひだか
 石狩市花川南9条3丁目92-6
 0133-73-2266
 11:00~14:30/17:00~23:00
 休火曜日

地産地消 とみき
 石狩市八幡4丁目4
 0133-66-3581
 11:30~17:00 (冬季休業: 11/1~翌4/28)
 休不定休

ザ・吉岡
 石狩市親船町24-2
 0133-62-3562
 7:00~23:00
 休不定休

シーフードレストランオールドリバー
 石狩市新港東1丁目54 (サーモンファクトリー店2F)
 0133-62-4691
 11:00~19:30 (1~3月17:00)
 休なし

カントリーキッチン・アン
 石狩市厚田区厚田24-1
 0133-78-2377
 11:00~17:00 (冬季休業: 12/中~翌2/末)
 休月曜日

はま恋食堂
 石狩市浜益区美田254-4 (浜益温泉内)
 0133-79-3617
 夏 11:00~17:00 冬 12:00~16:00
 春 4月~11月、冬 12月~3月
 休毎月1日 (土日の場合は月曜)

石狩商工会議所

〒061-3216 石狩市花川北6条1丁目5番地
 TEL (0133) 72-2111 FAX (0133) 72-2577
 URL : <http://www.ishikari-cci.or.jp/>

石狩市内の店舗・企業情報発信サイト
—WEBタウンいしかり—
 URL <http://i-lighthouse.jp>